

今月はICOの3月マーケットレポート邦訳及び、トピックスとして3月に開催されたICO理事会報告及び新しくICO事務局長に選出されたブラジルJose Sette氏の就任挨拶及び履歴書をお届けします。



コーヒー価格は輸出と在庫が増え更に弱含んだ

3月、ICO複合指標価格は若干下落した。ロブスタコーヒー価格はしっかりしていたが、アラビカコーヒーは下がった。ブラジル・ベトナムのコニロン・ロブスタコーヒーの減産にも拘わらず2016年10月～2017年2月の輸出量は前年同期を上回り供給量は十分で、消費国在庫量も引き続き増加した。2017/18年度生産量の良好な見通しがより確実になってきていることも相俟って、現在の弱含み傾向が反転し上向く可能性は低いと考えられる。

2017年3月13日～17日に開催された119回ICO理事会に於いてブラジルのJose Douster Sette氏がICO事務局長（期間は2017年5月1日から5年間）に選出されたこともお知らせする。

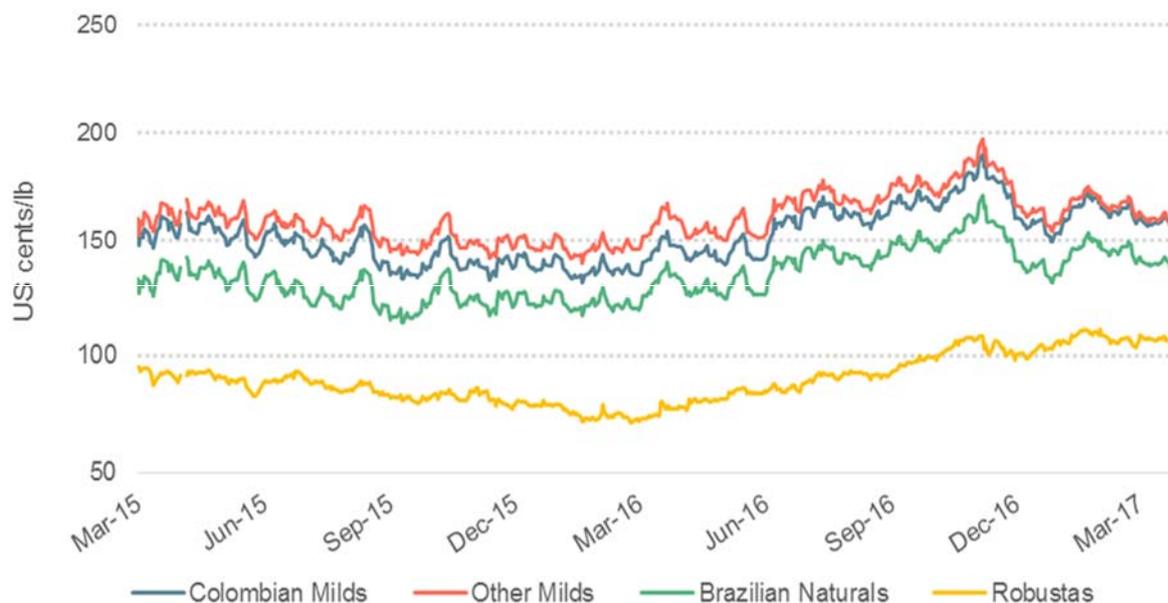
Graph 1: ICO composite indicator daily prices



© 2017 International Coffee Organization (www.ico.org)

3月、ICO複合指標価格は年初からの小刻みな下落傾向が続いた。ICO複合指標価格の3月平均値は、2月の137.68米セント/LBから2.6%下がり134.07米セントになった。

Graph 2: ICO group indicator daily prices



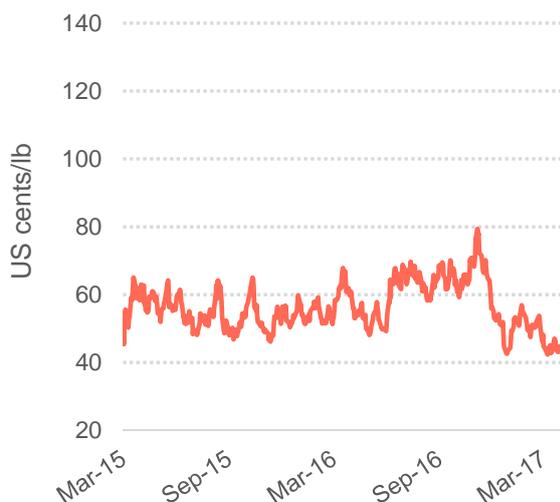
© 2017 International Coffee Organization (www.ico.org)

グループ指標価格はグループによりマチマチとなった。アラビカグループの指標価格は、コロンビアマイルド、アザーマイルド、ブラジルナチュラルが夫々3.2%、3.7%、4%と大幅に下落した。一方ロブスタグループは月中の値動きは少なかったが堅調に推移した。即ち3月の月間平均グループ指標価格は、2月の106.49米セントに比べわずかではあるが0.2%上昇し106.73米セント/LBになった。ロンドンとニューヨーク先物市場のアービトラージは引き続き縮小し、50.18米セントから44.37米セントに11.6%下がった。

3月のコーヒー価格動向の背景は、ブラジル・ベトナムのコニロン・ロブスタ生産量は減少したとはいうものの、コーヒー全体の供給量は十分だったということである。ロブスタコーヒーの世界の市場価格は、ICOロブスタグループ指標価格が2016年10月以降ずっと100米セントを上回っていることが示すように、相対的には強含みで推移している。この為、ブラジルの輸出の減少を補うためにベトナムの国内在庫が切り崩されている。ベトナムは2016年度最初の5か月間（2016年10月～2017年2月）に推定10.18百万袋を輸出したが、これは昨年同期の輸出量に比べると11.5%の増加である。

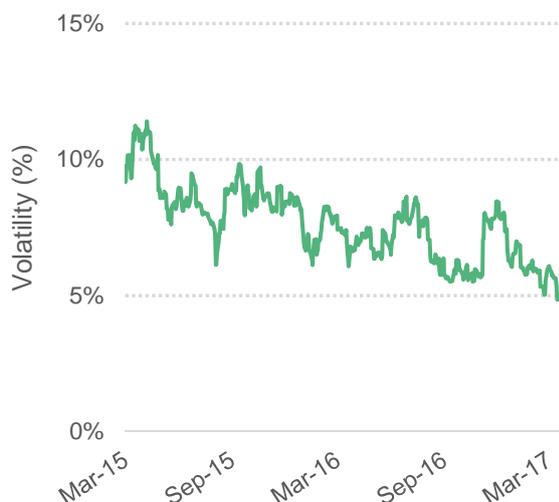
同時に市場へのアラビカ供給可能量は豊富である。コロンビアの生産量と輸出量は、2010年のサビ病危機以降植樹された疫病耐性のあるコーヒー木がフル生産期に入り増加している。また世界のコーヒー輸出量のほぼ四分の一を占める、インドネシア、ホンジュラス、インド、ペルー、ウガンダの生産国も、夫々2016/17年度の第4半期の輸出量は前年同期に比べ大幅に増えている。特に多いのはホンジュラスで、同国の輸出量は2.31百万袋となり、2015/16年度の1.71百万袋に比べると35.6%の増加となっている。ただ、これが持続するかどうかは、最近同国でサビ病が再発したとの情報があるだけに、今後を見る必要がある。

Graph 3: Arbitrage between New York and London futures markets



© 2017 International Coffee Organization (www.ico.org)

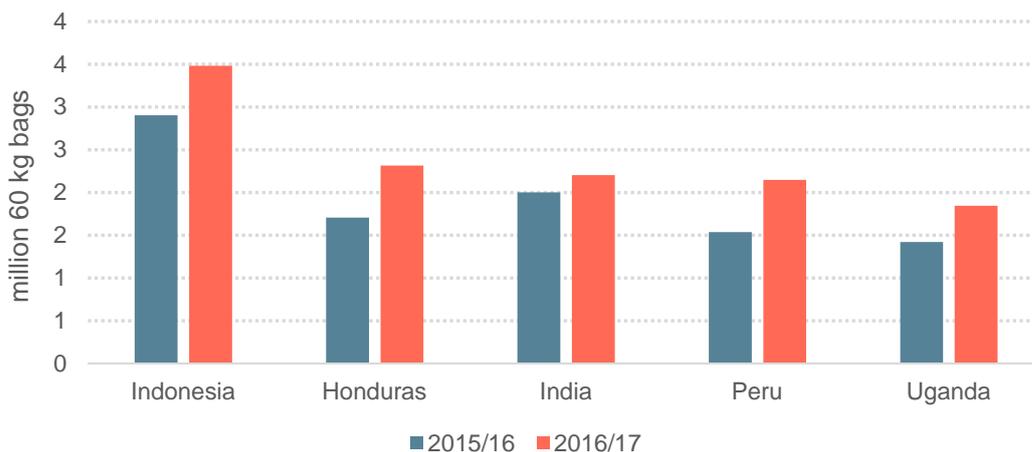
Graph 4: Rolling 30-day volatility of the ICO composite indicator price



© 2017 International Coffee Organization (www.ico.org)

ニューヨークとロンドン先物市場の認証在庫量は夫々2.4%（2月の1.49百万袋から3月は1.53百万袋に）、1.9%（2月の2.8百万袋から3月は2.85百万袋に）増加した。同時に消費国在庫量は引き続き増えている。例えば、米国の2月の在庫量は6.45百万袋であり、これは2003年5月以来最高水準である。2017/18年度のブラジルとベトナムの生産量見通しが良好なことを考慮すると、これまでであった供給懸念は随分薄まり、弱含み傾向にあるコーヒー価格が反転する兆候が表れる可能性は低いと考える。

Graph 5: October to December exports by selected countries



© 2017 International Coffee Organization (www.ico.org)

Table 1: ICO indicator prices and futures prices (US cents/lb)

	ICO Composite	Colombian Milds	Other Milds	Brazilian Naturals	Robustas	New York*	London*
Monthly averages							
Mar-16	117.83	145.20	157.50	130.38	75.60	127.33	66.17
Apr-16	117.93	143.66	154.22	128.10	80.18	125.34	70.90
May-16	119.91	144.49	155.19	129.05	83.93	126.80	75.11
Jun-16	127.05	156.86	165.45	138.38	85.94	139.10	76.87
Jul-16	132.98	164.46	171.76	144.76	90.82	148.16	82.09
Aug-16	131.00	160.78	167.54	141.41	91.79	145.37	83.47
Sep-16	138.22	168.85	176.30	149.80	96.88	154.87	88.63
Oct-16	142.68	172.28	178.96	153.15	103.65	160.07	95.30
Nov-16	145.82	177.85	184.12	157.72	103.72	165.24	95.40
Dec-16	131.70	156.64	161.78	137.14	101.85	143.04	93.66
Jan-17	139.07	164.96	168.61	145.70	108.32	152.24	100.24
Feb-17	137.68	163.67	166.35	145.50	106.49	148.64	98.46
Mar-17	134.07	158.40	160.15	139.67	106.73	143.38	99.01
% change between Mar-17 and Feb-17							
	-2.6%	-3.2%	-3.7%	-4.0%	0.2%	-3.5%	0.6%
Volatility (%)							
Feb-17	5.7%	6.2%	5.6%	7.0%	5.6%	6.5%	5.8%
Mar-17	5.4%	5.8%	5.7%	6.6%	5.6%	6.7%	5.9%
Variation between Mar-17 and Feb-17							
	-0.3%	-0.4%	0.0%	-0.5%	0.0%	0.2%	0.1%

* Average price for 2nd and 3rd positions

Table 2: Price differentials (US cents/lb)

	Colombian Milds Other Milds	Colombian Milds Brazilian Naturals	Colombian Milds Robustas	Other Milds Brazilian Naturals	Other Milds Robustas	Brazilian Naturals Robustas	New York* London*
Mar-16	-12.30	14.82	69.60	27.12	81.90	54.78	61.16
Apr-16	-10.56	15.56	63.48	26.12	74.04	47.92	54.44
May-16	-10.70	15.44	60.56	26.14	71.26	45.12	51.69
Jun-16	-8.59	18.48	70.92	27.07	79.51	52.44	62.23
Jul-16	-7.30	19.70	73.64	27.00	80.94	53.94	66.07
Aug-16	-6.76	19.37	68.99	26.13	75.75	49.62	61.90
Sep-16	-7.45	19.05	71.97	26.50	79.42	52.92	66.24
Oct-16	-6.68	19.13	68.63	25.81	75.31	49.50	64.77
Nov-16	-6.27	20.13	74.13	26.40	80.40	54.00	69.84
Dec-16	-5.14	19.50	54.79	24.64	59.93	35.29	49.38
Jan-17	-3.65	19.26	56.64	22.91	60.29	37.38	52.00
Feb-17	-2.68	18.17	57.18	20.85	59.86	39.01	50.18
Mar-17	-1.75	18.72	51.66	20.48	53.42	32.94	44.37
% change between Mar-17 and Feb-17							
	-34.6%	3.0%	-9.6%	-1.8%	-10.8%	-15.6%	-11.6%

* Average price for 2nd and 3rd positions

Table 3: World supply/demand balance

Crop year commencing	2013	2014	2015	2016*	% change 2015-16
PRODUCTION	152 130	148 724	151 438	151 624	0.1%
Arabica	90 163	86 151	88 273	95 204	7.9%
Robusta	61 967	62 572	63 165	56 419	-10.7%
Africa	16 243	15 987	16 229	16 353	0.8%
Asia & Oceania	46 461	45 666	48 967	43 110	-12.0%
Mexico & Central America	16 598	17 116	17 291	17 740	2.6%
South America	72 828	69 954	68 951	74 420	7.9%
CONSUMPTION	149 032	151 822	155 712	155 100	-0.4%
Exporting countries	46 109	47 245	48 262	48 337	0.2%
Importing countries (Coffee Years)	102 931	104 577	107 450	106 763	-0.6%
Africa	10 595	10 739	10 745	10 774	0.3%
Asia & Oceania	30 714	32 602	33 665	33 669	0.0%
Mexico & Central America	5 158	5 240	5 311	5 237	-1.4%
Europe	50 169	50 907	51 802	51 544	-0.5%
North America	27 714	27 372	28 875	28 535	-1.2%
South America	24 682	24 962	25 313	25 341	0.1%
BALANCE	3 098	-3 098	-4 274	-3 476	-18.7%

In thousand bags

* Estimated

Table 4: Total exports by exporting countries

	February 2016	February 2017	% change	October - February		
				2015/16	2016/17	% change
TOTAL	9 694	9 707	1.3%	46 403	49 516	6.7%
Arabicas	6 295	6 149	-2.3%	29 730	31 729	6.7%
<i>Colombian Milds</i>	1 230	1 281	4.1%	6 218	6 825	9.8%
<i>Other Milds</i>	2 106	2 319	10.1%	7 816	9 462	21.1%
<i>Brazilian Naturals</i>	2 959	2 549	-13.9%	15 696	15 442	-1.6%
Robustas	3 399	3 557	4.6%	16 672	17 787	6.7%

In thousand bags

Full trade statistics are available on the ICO website at www.ico.org/trade_statistics.asp

Table 5: Certified stocks on the New York and London futures markets

	Mar-16	Apr-16	May-16	Jun-16	Jul-16	Aug-16	Sep-16	Oct-16	Nov-16	Dec-16	Jan-17	Feb-17	Mar-17
New York	1.62	1.58	1.53	1.48	1.45	1.45	1.42	1.44	1.42	1.40	1.45	1.49	1.53
London	2.92	2.78	2.64	2.53	2.45	2.37	2.32	2.28	2.38	2.39	2.73	2.80	2.85

In million bags

—トピックス（1）—

3月13日～17日にロンドンで開催された第119回理事会及び委員会等についてご報告します。

第119回理事会

昨年12月30日に突然亡くなったSilva事務局長の後任人事を含むICOの今後を決めることを主目的とする理事会であった。まず、1月23日に開催された118回緊急理事会及び2月28日に行われた新事務局長選挙の事前選考委員会（Pre-Selection Committee）の内容について米国のMenchi議長からの報告があった。即ち、事務局長候補者として期限までに9名の立候補者があったが、インドネシア、ペルー、メキシコ、ブラジル、スイスの5名に候補者を絞り込んだこと及び、この理事会期間中に、出来れば投票ではなく話し合いで事務局長を決めたいとの内容だった。初日は候補者の立候補演説及び、応援演説等だったが、ペルー、インドネシアの候補者が現れなかったため（インドネシアの候補者は英国入国ビザ取得が間に合わず、ペルーの候補者は辞退した）、残り3名が先に済ませた後、インドネシアの代表はスカイプを利用し会場の大画面と現地との直接インタビュー形式で行われた。ブラジルの候補者は6年前に事務局長代行を務め、現在国際綿花諮問委員会（ICAC）事務局長を務めるJose Sette氏、メキシコは6年前の事務局長選挙で苦杯を飲んだRodolfo Trampe氏、スイスは官僚歴が長くWTO等国際機関への同国代表を務めるRemigi Winzap氏、インドネシアはコーヒー生産研究畑が長い農業省上級研究員・政策顧問のDelima Darmawan女史の4名だった。初日演説会は、Sette氏、Remigi氏が一步リードしている印象だった。

二日目以降は、各種委員会や追悼ミサなどの行事が淡々と行われたが、並行して裏ではMenchi議長が話し合いによる決定を目指し、各国代表との2度にわたる個別話し合い（Confessional Meeting）を含む候補者の絞り込み作業を行った。日本政府代表の話では、まずインドネシアが落ち、次にメキシコが諦め、スイスとブラジル両候補の争いとなった。最終日の朝になっても結論は出ず、議長と代表団の個別話し合いが継続され当初9時半予定の理事会が開かれたのは午後2時半だった。議長からは一切絞り込みの経過説明はなされず、『各国代表団からのヒアリングではブラジルのSette氏への支持が一番多かった』ということが告げられ、その後ほぼ全ての理事会参加国代表から次々に、Sette氏を支持する旨の発言があり全会一致という形で彼の事務局長就任が決まった。日本代表の話では、最大票（31.05%）を持つEUが棄権した（スイス候補を支持しないで会場の総意に従うことを決めた）ことが大きかったようである。

理事会では各委員会の討議内容が報告され委員会の承認事項が追認されたが、第5回世界コーヒー会議については2020年4月にインドのBengaluruで開催することが決められた。また、アフリカファインコーヒー協会（AFCA）とICOとが積極的に取り組むとの内容の合意書（MOU）を締結することが決められた。Global Coffee Platformの活動内容や次回120回開催国となるコートジボアールから会議の準備状況などの報告もあった。

最後に事務局から、ネパールが ICO 協定加盟の諸手続きを完了し新規加盟国になったとの報告があり会場代表団から次々に歓迎の意が表明された。

Silva 事務局長追悼ミサ

3月15日(水)午後、Westminster Cathedral で約1時間Silva事務局長の追悼ミサ(Requiem Mass)が厳かに催された。ICO 理事会議長 Menchi 女史含み 150 名程が出席した(この後 ICO 事務所で追悼レセプションが開催され、ブラジルから来た Silva 氏親族も含め故人を悼んだ)。

財務運営委員会

事務局から 1 月 1 2 日に開催された緊急財務運営委員会に於いて、新しい事務所がロンドン中心街近くの 222 Gray's Inn Road (ビルの 4 階、630 m²、)に決まったこと及び現在室内を改装中で4月初めには引っ越し可能だろうとの報告があった。2015/16 年度の最終決算(総運営費用:2961 千ポンド)報告があり承認されたのち、2016/17 年度 2 月末現在の予算執行状況、2017/18 年度予算概算報告がなされた。従業員規定改定作業部会の報告・討議の後、一部を除き承認された。

プロジェクト委員会

事務局から現在進行中の『ブルンジのコーヒー持続可能性促進プログラム及びコンゴのコーヒーリハビリテーションプロジェクト』の進捗状況の報告があり、『エチオピア・ルアンダのコーヒー加工規模拡大のための信用保証持続プロジェクト』終了に伴う報告がなされた。ICO・アフリカ域内銀行、アフリカ域内コーヒー機構(IACO)の3社で協力して立ち上げている信用供与団体であるアフリカコーヒー機関(Africa Coffee Facility)について報告され、これがうまくいけばアジア、中南米などでも域内銀行と組み同様の機関を立ち上げたいとの事務局からの意思表示があった。

民間部門諮問委員会

Illy Café の Andrea Illy 氏が『The Global Arabica Plan』と題して、気候変動などの厳しい環境のなかで、アラビカコーヒーの持続可能性(Sustainability)が危機に晒されているが、この問題の解決には生産者側と消費者側が一体となって当たらねばならないとし、『世界アラビカ生産プラン』が示された。委員会メンバーのみならず、場外からもこの時宜を得た問題提起を評価する声が上がったが、ロブスタ生産国からのロブスタも対象にすべきとの意見や、この問題こそ ICO が中心となって取り組むべきテーマだとする意見などもあり場外を巻き込んで活発な意見交換が行われた。次回アビジャンの理事会でも引き続きこの議題を継続することが決められた。事務局から今年の『国際コーヒーの日』のテーマは『Coffee for you and me』にしたいがイベント内容は5月頃までには決めたいとの話があった。昨年

9月の理事会でインドが立候補を表明した第5回世界コーヒー会議開催地については、メキシコ代表から立候補したいとの声が上がった。

統計委員会

事務局から最近出版された3つのコーヒー関係研究論文に関する論評があり、ICO複合指標価格決定に際し使用される品種別割合につき過去4年間の輸出実績が報告され、今年10月1日から適用することが承認された。今回発表が予定されていたカメルーン、ガーナのコーヒープロファイルは間に合わなかった為、9月の理事会では、イタリアも加え3か国のプロファイルを用意するとの話があった。

その他委員会

PM委員会では今年の『国際コーヒーの日』の紹介やIlly Caféの『Global Coffee Plan』についての紹介がされた。CG委員会では次回アビジャン理事会での第7回フォーラムは『コーヒー生産を持続可能にするために生産技術やIT管理技術をいかに改善するか』をテーマとすること及び加盟国の技術者も招請し情報交換することが決まった。また、ICO戦略見直し作業部会については、事務局から、新事務局長のもと6月に作業部会を開き、9月の理事会で5か年計画とともに2017/18年度活動方針を発表したいとの話があった。

—トピックス(2)—

理事会最後に事務局長に選ばれたSette氏が挨拶をしましたが、全文がICOホームページに掲載されていたので邦訳をお届けします。

紳士淑女の皆さん

有難うございます。私は選挙結果について予断を持ちたくなかったので前もってスピーチを準備しませんでした。しかし、皆さんにお話ししたいポイントをいくつか書き出してみました。

1979年、私が初めてこの会議場に足を踏み入れた時、まさか私がICO事務局長に選ばれここに戻ってくるとは、またこの場所が何年も後にこのような形で利用される最後の機会になるとは思いもしませんでした。わたしにとっては本当に名誉なことです。

まず最初に、私がICO事務局長になる手助けをしてくれた全ての人に感謝申し上げます。一人ひとりの名前を挙げることはできませんが、全てを代表して一人だけ申し上げます。その人は私の叔父で1980年台にICOブラジル代表団一員だった、Jorio Dausterです。彼は交渉が巧みで、能弁の士であり且つ博識で、J.D. Salinger, Vladimir Nabokov, Ian McEwan等著名な作家の作品をポルトガル語に翻訳した人でもあります。彼は私をコーヒーの世界

に導き、長年私の師でもありました。今日私がここにいることが出来るのは彼のお陰です。

次に私は、現在 ICO がすぐにでも事務局長が必要な状況であることを知っており、できるだけ早く仕事を始めたいと考えています。しかし、私は国際綿花諮問委員会 (ICAC) に果たさなければならない義務が残っており、ICAC 加盟の全てのメンバーには大きな恩義もあります。従い、私としてはまずここに来る前にしっかり ICAC の引継ぎを行うつもりです。私は 1 月末 ICAC に辞表を提出しましたので、4 月末が退職期限になっています。故に 5 月初めにこちらに赴任し、事務局長に就任したいと思います。しかしご安心ください。就任前であってもダブルシフトで基本事項についての準備をするつもりです。例えば、ICO 理事会議長とは地理的に近いのでこの間に訪問し打ち合わせが出来ると思います。議長に米国でお会いできるのを楽しみにしています。

私は、事務局長に選ばれうれしいのですが、今週この理事会期間中 ICO について皆さんから問題提起されたことや私自身が目にした ICO の現状についても留意するつもりです。ICO の包含性 (inclusiveness) について多くの問題提起がありました。息子が好きな小説の諺に、『権力が大きければ大きいほど責任も増える』があります。この瞬間から私はもうブラジルの候補ではありません。私は、全加盟メンバーのサーバントです。アルファベット順に言えば、アンゴラからジンバブエまで、ただ今回ジンバブエは欠席していますので、ベトナム迄の全ての加盟国に対する奉仕者になるつもりです。

ICO は世界の変化を受け入れながらも重要性 (relevancy) を維持する近代的な国際コモディティー機関にならなければいけません。この機関は私が大切だと思う ICO 精神に基づきトップダウンではなくボトムアップで運営され、包含性 (inclusiveness) があり、加盟国の思いを反映する (representativeness) 組織にならねばなりません。

私は特に今回の論戦を実りあるものにしてくれた全ての立候補者に対し感謝の意を表したいと思います。特に Rodolfo Trampe 氏は、私が ICO 事務局長代行時代に尊敬し賞賛するようになった仁であり、誕生日が同じという縁もあり、最近になっても年に一度は挨拶を交わす間柄であることに触れない訳にはいきません。今後、全ての候補者のアイデアをよく検討の上 ICO のこれからの仕事に反映させることをお約束します。

事務局長に選ばれた以上、私は加盟国メンバー全てと幅広い意見交換をさせて頂くつもりです。7 月にコロンビアで開催される生産者フォーラムには、全加盟国でなくとも少なくとも生産国は集まりますのでこれからのことにつき一緒に議論する良い機会だと思っています。また、消費国メンバーとも緊密に連絡をとらせて頂くつもりで、現在住んでいる関係もあり、まず米国を皮切りに、EU、スイス、その他の国と順次打ち合わせたいと考えてい

ます。出来るだけ早く全ての加盟国と話す機会を持ちたいと考えています。

更に私は ICO 職員の採用に関しては、高い能力を持つことは当然のことながら加盟国の地域配分にも考慮するようとの意見があったことにも留意するつもりです。そして我々の仕事については、組織の目標がどの程度達成されているかが明確に分かるように、計量可能なものを皆さんと一緒に設定するつもりです。

私はここで、我々が直面する重要な問題について認識したうえで、楽観的な見方で最後を締めくりたいと思います。現在穀物 (agricultural commodity) は色々な観点で悲観的に見られています。砂糖とオレンジは肥満の原因とされ、私が携わっている綿花は、水を大量消費する環境に優しくない作物と考えられており、ココアは社会的持続可能性に問題ありとして攻撃されています。コーヒーも批判が無いという訳ではありませんが、相対的に他の作物に比べ優位なポジションにあります。我々にとっては素晴らしい資産であり、良い名であり、評判でもあります。我々はこの方向性を維持する為に努力しなければなりません。我々はコーヒーが社会を良くする強力な手段だということを忘れてはいけません。我々は、コーヒーに生活を頼っている 1 億人以上の人々と共に働き、彼らに素晴らしい未来を与える責任があるのです。

皆さんと共に働く機会を与えてくれたことに感謝します。

以上

—トピックス (3) —

2017 年 3 月 17 日 ロンドン ICO プレスリリース

国際コーヒー機関は 2017 年 3 月 13 日～17 日 ロンドンの ICO 本部で開催された理事会に於いて Jose Dauster Sette 氏を全会一致で同機関の新事務局長 (任期 5 年間) に任命することを決めた。

Sette 氏は現在、国際綿花諮問委員会の事務局長を務めており履歴書は別添の通りである。

ICO 理事会加盟国メンバーは、今回選ばれなかったが優秀で経験豊かな素晴らしい立候補者を立ててくれた政府にねぎらいの言葉をかけるとともに、加盟全政府が全会一致で新理事長を決めることが出来たことを祝福した。

新理事長履歴

氏名 : Jose Dauster Sette

国籍 : ブラジル

特技 : 15 年以上に亘る国際コモディティー機関及び貿易協会の上級管理職経験

30 年以上に亘る国際貿易の経験

各種経済学研究 (特に穀物市場) の執筆、分析、監修

国際開発プロジェクトの資金調達を含む監督経験
米州、アジア、アフリカ、欧州に於ける国際会議、展示会、セミナーの開催
20 か国以上での国際会議での講演経験
複雑な異文化組織の管理職経験
チーム員の選別、動機づけ、組織化の技術
言語：流暢な英語、ポルトガル語、上級レベルのスペイン語、フランス語

職歴：

国際綿花諮問委員会 (International Cotton Advisory Committee) ワシントン 米国

職責：事務局長

期間：2013年1月～現在

国際コーヒー機関 (ICO) ロンドン 英国

職責：事務局長代行 (2010年11月～2011年10月)

執行部長 (2007年11月～2010年10月、2011年11月～2012年12月)

期間：2007年～2012年

学歴：

American University (米国、DC) 財政学 経営学修士 (MBA) 1986年卒業

Yale University (米国、CT、New Haven) 経営管理学学士 (BA) 1978年卒業

以上